

漁業の成長産業化と漁村の活性化を目指して

(規制改革推進会議 水産ワーキンググループ 説明資料)



2017年9月25日

全国漁業協同組合連合会

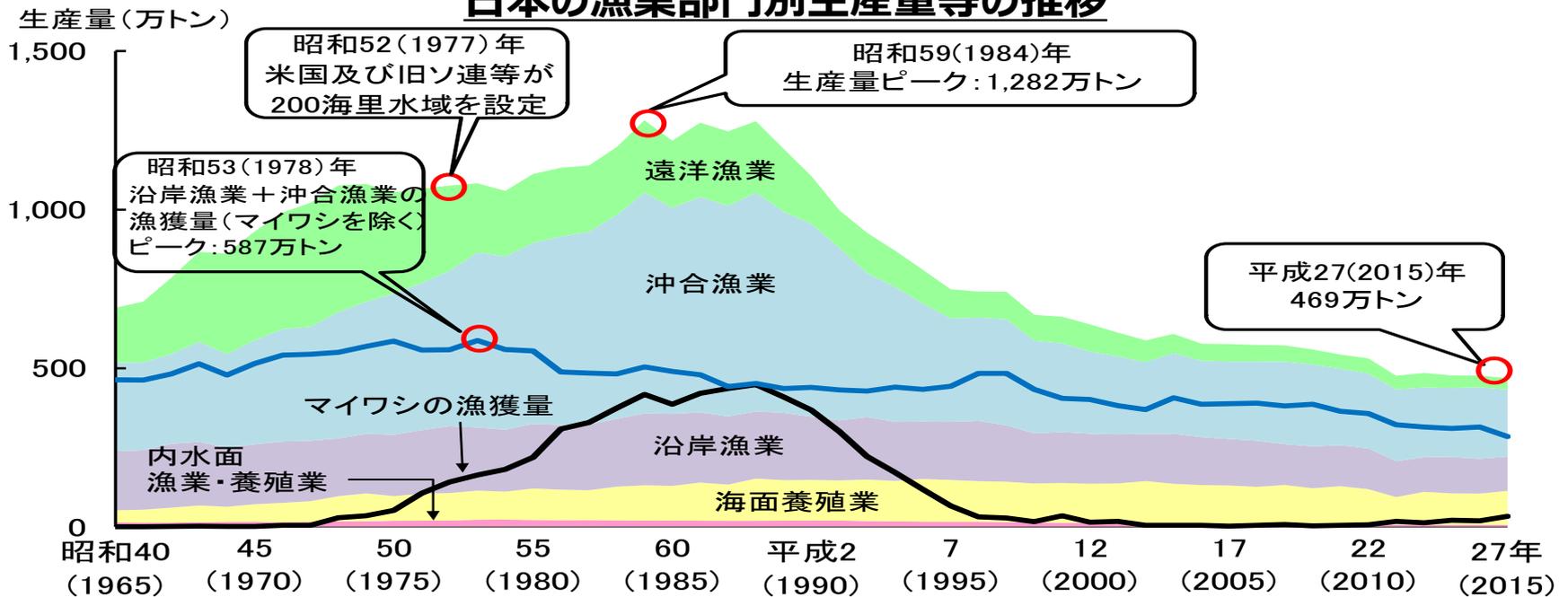
目次

- 国内漁業生産量・産出額の推移と背景.....3
- 新規漁業就業者の確保・育成の取組.....4
- 担い手に施策を集中し、循環型の生産構造へ.....5
- 浜が自ら考え実践する「浜プラン」の取組.....6－10
- 浜と企業のビジネスマッチングの推進.....11
- 漁業の成長産業化の前提となる資源の持続的利用体制の確立..12
- 資源管理の取組事例.....13
- 種苗放流による栽培漁業の取組の効果.....14－15
- JFが行う沿岸域の調整・管理の役割.....16
- 漁場利用の高度化に向けたJFの役割.....17
- 費用負担にかかる透明性の確保.....18
- 漁業者・漁村のもつ国境監視機能の発揮.....19
- JFの収益構造.....20
- JFの財務改善に向けた取組.....21
- JF組織強化に向けた取組.....22

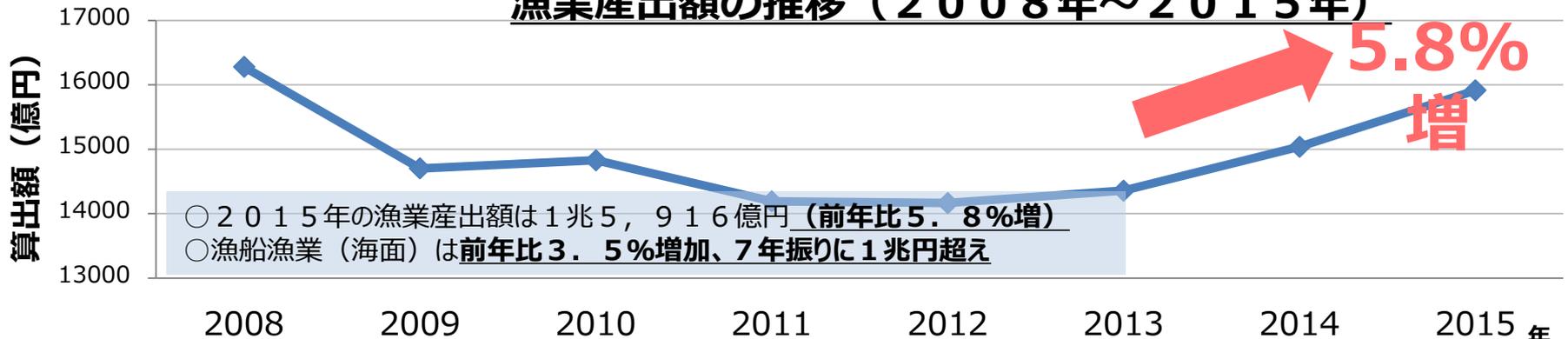
国内漁業生産量・産出額の推移と背景

－ 漁業産出額は3年連続で上昇－

日本の漁業部門別生産量等の推移



漁業産出額の推移 (2008年~2015年)



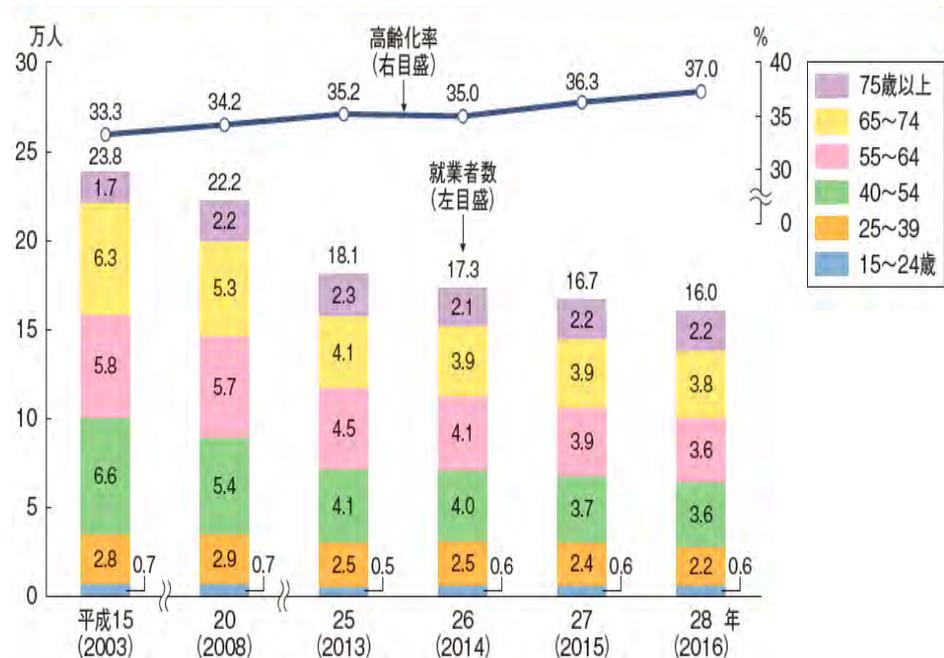
出典:平成28年度水産白書、農林水産省「漁業産出額」

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/gyogyou_seigaku/index.html

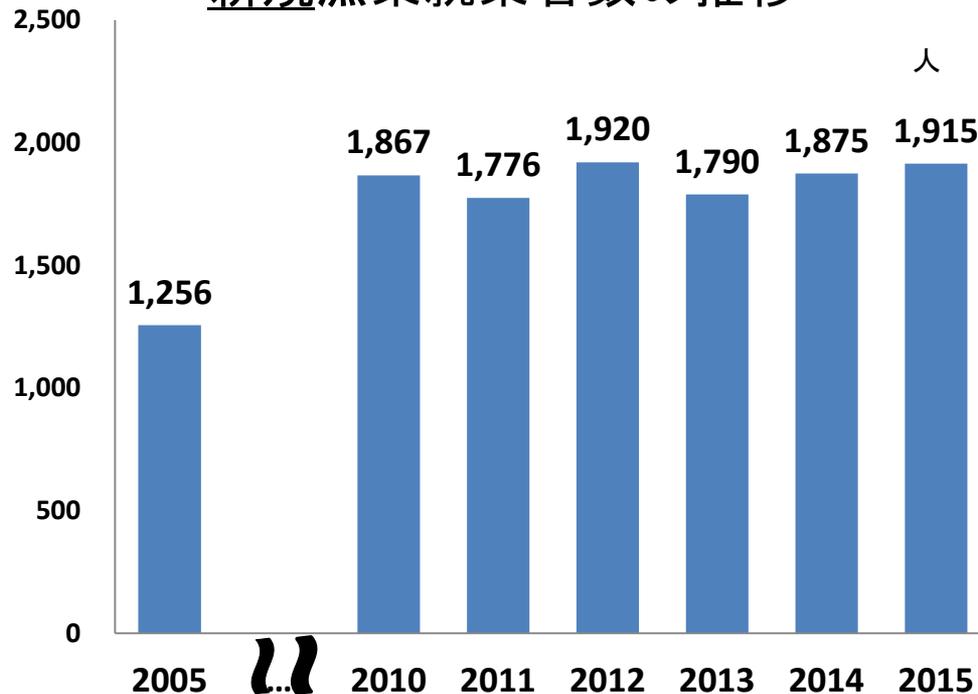
新規漁業就業者の確保・育成の取組

- 地方自治体やJF等が主体となって新規就業者確保に向けた取組を実施。
- 国も漁業就業相談会や漁業現場での研修を支援。
- 新規漁業就業者は、近年2千人近くが継続して参入。

漁業就業者数の推移



新規漁業就業者数の推移



出展:平成28年度水産白書

担い手に施策を集中し、循環型の生産構造へ

- 「国際競争力の強化のための課題に取り組む者を、効率的かつ安定的な漁業経営体となるべく育成し、今後の漁業生産を担っていく主体として位置付け、経営施策を重点化（水産基本計画）」

「担い手」2万2000に 施策を集中

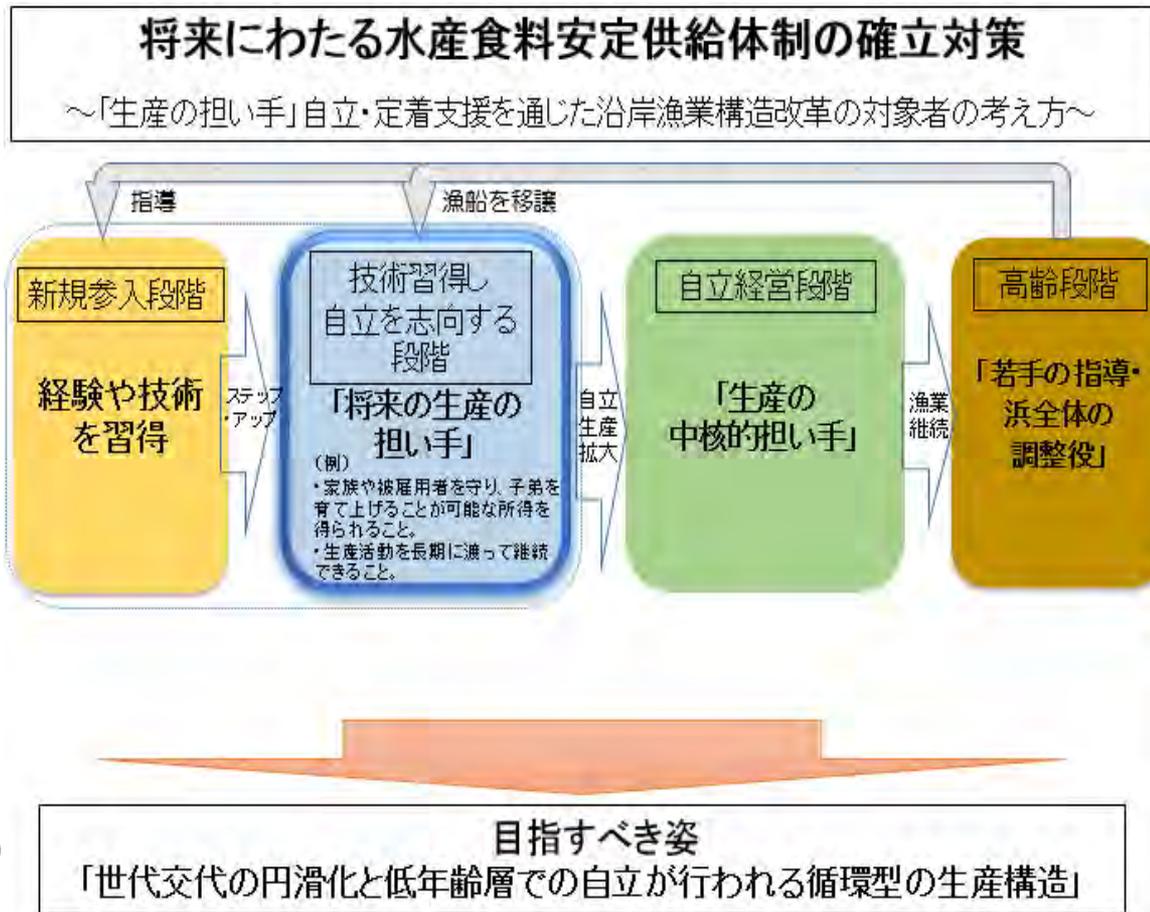
競争力ある漁業 経営体の育成へ

水産政策の新たな方向性

水産

水産部が、漁業の持続可能な発展に向け、新たな方向性を示した。これからは、漁業の競争力を高めるための施策を重点化する。特に、漁業の担い手となる若者の育成に力を入れる。また、漁業の生産構造を循環型にするための施策も検討する。

水産部は、漁業の競争力を高めるための施策を重点化する。特に、漁業の担い手となる若者の育成に力を入れる。また、漁業の生産構造を循環型にするための施策も検討する。



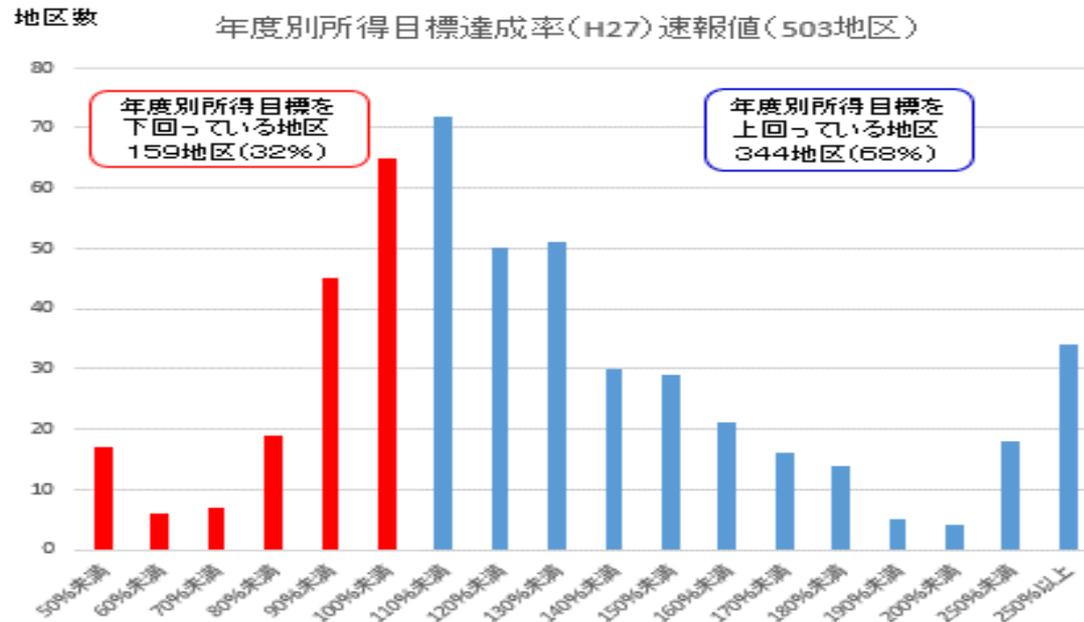
水産部新聞 2016年8月24日(水)

浜が自ら考え実践する「浜プラン」の取組

○ 沿岸漁業は、地域毎に漁獲対象も漁業の実態等も異なることから、地域に即した成長戦略を計画化し実践する「浜の活力再生プラン」を軸として、成長産業化に向けた取組を推進していくことが有効である。浜プランの取組は約7割の地域で掲げた所得向上目標を上回る等の成果をあげているが、さらなる成果の向上を図るため、異業種との連携を通じた取組の高度化や広域プランに基づく産地市場の統合、施設の集約化、ITや高度な技術の活用等に取り組んでいく。

進捗・成果

- ✓ 平成29年8月末現在、646地区が実践中。
- ✓ 浜プラン取組の結果、年度別の所得目標を上回った地区は全体の7割。
- ✓ また、所得が向上した地区においては、収入向上の取組が多い。



所得目標を達成した地区における取組

